

校長通信（6月号）

June / 1st / 2025 / VOL 033

スクールモットー「Enjoy Making Mistakes 失敗を歓迎しよう」

今回は、3つ目のスクールモットー「Enjoy Making Mistakes 失敗を歓迎しよう」についてお話ししたいと思います。今、無難な生き方を選択する若者が多いと聞きます。三十歳くらいを過ぎると、なかなか新しいことに挑戦したりというモチベーションも低下する人も多いのだとか。そこには日本社会の抱えている課題や、努力しても成果につながらない日本経済の行き詰まりも、一因としてあるのかもしれませんが。しかし、安定や無難さだけでは、現状に変化を起こすことはできませんし、何かを良くしたり、誰かに貢献するということはできません。今、日本が求めているものは、挑戦し続ける人、そして失敗し続ける人です。

ここでぜひ強調したいのは「挑戦し続ける人」や「失敗し続ける人」であり、決して「成功する人」ということではありません。誰もかっこいい人生を送りたい、輝かしい成功を収めたいものです。逆に、失敗したらカッコ悪いとか、失敗したら情けない、惨め、哀れ、負け犬のような捉え方をしてしまいがちです。こうした思いから、成功することにこだわりすぎてしまったり、挑戦や失敗することを避けるようになっていたり、無難さや安定さを求めるようになってしまいます。しかし、成功するとはそもそもどういうことなのでしょう？仮に「成功すること＝何かがうまくいくこと」とした場合、その反対は何でしょうか。成功の反対は失敗ではありません。成功の反対は「何もしないこと」です。無難や安定といったことから、何かが生まれることはありません。逆に同じことの繰り返しは衰退を呼ぶことは間違いありません。生物も常に変化し、進化し続けています。宇宙も常に動き、変化し続けています。同じ場所に留まり続けることは、非常に不自然なことなのです。成長とは変化することです。そして、この過程で失敗を繰り返し経験していくということです。

「ハリーポッター」シリーズで世界的に有名な小説家であるJ.K.ローリング氏がいます。同シリーズは世界で4億5000万を超える発行部数を誇り、経済的にも大成功を収めました。さぞかし、エリート街道をひたすら走ってきたのだろうと想像しがちですが、20代は経済的にもとても厳しい生活状況だったといえます。また、結婚生活は短期間で破綻してしまい、仕事もなく、シングルマザーで、ホームレス一步手前の最低水準の生活を送っていたそうです。「ハリーポッター」の輝かしい成功とは真逆の、人生のどん底時代を経験していたことになります。しかし、ローリング氏はこの時の失敗経験をむしろ必要であったと語っています。この時の失敗があったからこそ、自分が何者であるのか、自分の本質が何であるのかを見つめることができたといえます。また、失敗を経験したことで、自分にはどんな宝石よりも価値がある、大切な友人がいることに気がつくことができたのだと言っています。挫折から這い上がり、賢く、強くなれたと知ることは、自分にはこれからの未来を生きていくための力があるという安心感をもらうことができたと言います。

ローリング氏ほどではありませんが、私も大きな失敗をたくさん経験しました。学生時代にも大きな挫折を経験しました。社会人になっても大きなやらかしを何度も経験しました。プライベートでも悲しく辛い経験もしました。逃げ出したい、目の前のことを放り出したい、消えてなくなりたいと本気で思ったこともあります。でも、その時に踏ん張れたことが、今の自分につながっています。そして、大変で辛い時期に支えてくれた仲間たちの存在がどれほど嬉しかったか忘れることはありません。失敗経験なくして、人生は豊かにはなりません。今でも、失敗してばかりいますが、失敗することは挑戦している証だと思い、まだまだこれからもガンガンやっていくつもりです。

だから皆さん、失敗しましょう。失敗をみんなで歓迎しましょう。失敗したらダメなんて有り得ません。失敗したら「Nice Try !!」です。自分も、仲間も、背中を押していきましょう。そうすれば必ず、人生は豊かになります。そして、そうすれば必ず最高の仲間たちの存在に気づくことができます。

2つの連携協定を締結！

御殿場西高校は2つの団体と連携協定を締結しました。

まず一つ目は「日本スクールドッグ協会」との連携協定です。本校は日本唯一のスクールドッグが常駐している学校です。これからそのユニークさを活かして、日本全国にこの取り組みを広げていくことを目指していきます。生徒の居場所づくりはもちろん、生徒の主体的な活動の場にも繋げていくことを目指しています。

そして2つ目は「アチーブゴール」との連携協定です。かねてより、国内、海外の語学研修等で連携をしてきた同団体と、今後更なる協力体制の元で、本校の生徒たちの「越境」を促進していきます。御殿場西高校の教育の柱である「越境：グローバル教育」をこの連携協定により、さらに加速させていきたいと思ひます。



保護者会主催 奉仕活動

5月24日（土）保護者会主催の奉仕作業が行われました。天候にも恵まれ、比較的涼しい気温の中、校庭の雑草や、ACの草刈りなど、普段はなかなかできない校内の整備や清掃活動を行いました。学校は生徒、教職員、そして保護者の3者で作っていく場所であり、本校はこの奉仕活動をその一環として、大切な学校行事の一つとして位置付けています。みんなで協力して綺麗にした学校施設を、生徒と教職員の私たちは、感謝の気持ちと、謙虚な姿勢を持ちながら、大切に使いましょう。



学校の中心は授業だ

生徒の学校生活の大半は授業です。今年から、僕も英語の授業と探究授業を持たせてもらいました。わかったことは、授業が生徒にとって大切であると同時に、僕ら教員にとっても最高の自己表現の場（出番）だということです。英語の授業をしながら生徒たちと学び、探究の授業で生徒と何ができるのかを一緒に考える。そんな時間が、僕には何よりも幸せな時間です。妻にそんな話をすると、今年に入ってからとっても学校が楽しそうだねと言われました。僕を教師にしてくれるのは生徒の皆さんです。



保護者の皆様へ

初夏の6月。本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今年度も早くも2ヶ月が経過し、順調に学校行事が進んでいます。5月24日（土）保護者会主催の奉仕活動には、休日にも関わらず本当に多くの保護者の皆様にご参加くださり、生徒と教職員とともに清掃活動をしていただきました。本校の伝統行事であるこの奉仕活動を今年も行うことができ、大変嬉しく思います。本当にありがとうございました。これからも、生徒、保護者、教職員が協力しながら、一緒によりよい学校を作っていけるような関係性でありたいと思ひます。これからもよろしくお願いいたします。

6月の主要行事

6/2（月）仰高祭（体育の部）

6/9（月）芸術鑑賞会 / 保護者会地区会（6/17まで）

6/14（土）国際ポエトリー交流会 / 特別選抜コース説明会

6/24（火）～26（金）第1回 定期試験

6/27（金）生徒休業日

